

2012 年度秋季「賛助会員の会」開催報告

賛助会員の会 運営委員会 委員
日本ガイシ株式会社 辻 裕之（文責）

秋季大会会期中（於：九州工業大学）の9月15日、「賛助会員の会」第5回総会、第4回ニューテクノフォーラム（NTF）等の各種行事が開催された。総会、NTFに続き昼食懇談会、および2012年度第5回運営委員会を開催し今後のさらなる活動の活発化に向けて議事が進められた。以下、概略を報告する。

1. ま え が き

賛助会員相互および学会幹部らとの、交流の定常的機会の提供を目的に設立された「賛助会員の会」が企画主催した第4回ニューテクノフォーラム、それに先立つ第5回総会、NTF後の昼食懇談会、2012年度第5回運営委員会がおのおの開催され、滞りなく終了した。

2. 第 5 回 総 会

2012年9月15日（土）9：00～9：30、九州工業大学戸畑キャンパス講堂にて、26名の参加者を得て第5回総会が開催された。渋川会長の挨拶に続き、北嶋運営委員長より本日の全体開催スケジュール、「賛助会員の会」活動状況について報告があった。今後の計画と参画へのお願い、技術賞、技術奨励賞およびフェロー、アフィリエイトへの積極的な応募要請があった。

3. 第 4 回ニューテクノフォーラム

第5回総会に引き続き、第4回ニューテクノフォーラムが「新興国ポリウムゾーンに向けた工作機械戦略と技術課題」をテーマに開催された。日本工業大学 専門職大学院の横田悦二郎教授の「アジアにおけるモノづくり産業の現状と将来～工作機械市場を中心に～」と題した基調講演に続き、(株)森精機製作所 藤嶋 誠氏の「森精機製作所のグローバル戦略」、THK(株) 星出 薫氏の「直動システムの最新技術と新興国市場に向けた取組み」、ヤマザキマザック(株) 高田芳治氏の「最近の工作機械動向」、サンドビック(株) 鈴木 周氏の「サンドビックのアジア成長戦略～

アジアの現状と展望～」とおのおの題する話題提供が行われた。パネルディスカッションではポリウムゾーンを狙う上での核となる技術や産学連携について熱のこもった議論が進められ盛会のうちに終了した。

4. 昼 食 懇 談 会

第4回ニューテクノフォーラム終了後、生協食堂に会場を移して、パネルディスカッション・講演メンバー、参加者等々、産学関係者を交えた昼食懇談会を開催した。台風の接近で外は大雨の様相であったが、会場内では軽食を取りながら賛助会員相互および学会関係者が、親睦を深めながら意義ある1時間を過ごした後、散会した。

5. 第 5 回運営委員会

同日13：00より、第5回運営委員会が開催された。北嶋運営委員長挨拶に続き、今後のNTF開催テーマについて、次回以降4回分を見据えたテーマ案の議論を行った。

各委員に実施した事前のアンケート集計結果「NTFの今後の課題」を参考にして、各委員間の意見交換を行った。その中で有力な意見として、前向きな話題で活力が出る次のようなテーマが候補に上がった。①日本人の巧みについて②強い産業、世界のトップを走る企業による企業戦略/運営について、また、関連企業の裾野が広く参加者を集めやすい③自動車関連産業の現状についてなど。キーワードとしては、人材育成、技術/技能の伝承、戦略として具体的なテーマ選定を行うことにした。

第5回（2013年春季大会）は技術/技能の伝承をテーマ案とし、第6回は「世界トップシェア企業/オンリーワン商品を持つ企業」をテーマとした。その詳細や第7回、第8回テーマについては、運営委員会にて意見集約を行っていくこととした。



図1 北嶋委員長



図2 渋川会長挨拶



図3 総会の様子



図4 NTF 基調講演の横田氏



図5 NTF パネルディスカッションの様子



図6 渋川会長の挨拶（昼食懇談会）



図7 昼食懇談会の様子

6. ま と め

賛助会員の会 ニューテクノフォーラムおよび懇談会が、各分野での研究開発、実用化レベルでの情報共有化あるいは新たなシーズ・ニーズの方向性を提供する場として発展していくよう、また、精密工学会の発展のために各会員企業の積極的な参加、ならびに支援や助言をお願いしたい。